

# 救急章報告書

(2009年発行、「救急法」野外活動における応急手当 による)

日本ボーイスカウト静岡県連盟

第

団

隊

氏名 \_\_\_\_\_

(1)ボーイスカウト救急法講習会を修了する。

<ボーイスカウト救急法講習会修了証のコピーを貼付>

尚：日本赤十字社救急法講習、救急員養成講習および消防署普通救命講習、上級救命講習では、ボーイスカウト救急法講習会の一部細目を履修することができる。これらの修了証のコピーを添付し、これらの講習会で履修できなかった細目については、別途考査を受け、合格すること。

## ボーイスカウト救急法講習会細目

次の講習会の場合、 は細目の全てを履修したものとし、数字で示すものは該当番号の細目のみを履修と見なす。履修できなかった項目については別途考査をうけ、右の欄に認定をもらう。

	日本赤十字社		消防署		考査員の認定日付・サイン
	救急法講習	救急員養成講習	普通救命講習	上級救命講習	
<b>1. 救急法の基本</b> 次のことについて説明できる。 (1)ボーイスカウト救急法の意義 (2)傷病者の観察 (3)応急手当ての流れ	(2) (3)	(2) (3)	(2) (3)	(2) (3)	
<b>2. 心肺蘇生法</b> (1)心肺蘇生法の手順を説明できる。 (2)気道内異物除去の意義を説明し、正しく実演できる。 (3)気道確保の意義を説明し、正しく実演できる。 (4)人工呼吸法の意義を説明し、マウス・ツー・マウスによる呼気吹き込み法を正しく実演できる。 (5)胸骨圧迫(心臓マッサージ)の意義を説明し、正しく実演できる。					
<b>3. A E D (自動体外式除細動器)</b> (1)A E Dの適応を理解し説明できる。 (2)A E D使用の手順を説明できる。 (3)A E Dが作動しない心臓の状態と、そのような状態の時には何をしなければいけないかを説明できる。	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	
<b>4. 止血法</b> 以下の止血法の説明ができ、出血の状態に適した止血法がそれぞれ実演できる。 (1)直接圧迫止血法, (2)止血帯止血法	-	(1)	-		
<b>5. ショック</b> ショック状態の徴候と、予防のための手当てを説明できる。	-		-	-	
<b>6. 食中毒</b> 食中毒について説明し、その予防と手当ての方法を説明できる。	-	-	-	-	
<b>7. 一酸化炭素中毒</b> 一酸化炭素中毒を説明し、その予防と回避する方法を実演できる。	-		-	-	

<p>8．熱中症</p> <p>熱中症の種類とその予防，応急手当てを説明し，実演できる。</p>	-	-	-	-	
<p>9．頭部外傷</p> <p>頭部打撲時の症状と注意事項を説明できる。</p>	-		-	-	
<p>10．骨折，捻挫</p> <p>次の部位の骨折，捻挫，打撲に対し身近な道具を用い，創意と工夫で正しい応急手当てができる。</p> <p>(1)鎖骨 (2)上腕 (3)前腕 (4)大腿骨 (5)下腿</p> <p>(6)人指し指 (7)手首・足首の捻挫 (8)四肢の打撲</p>	-		-		
<p>11．きず等</p> <p>(1)きずの種類と応急手当てについての一般的注意事項を説明できる。</p> <p>(2)日常遭遇しやすい次のような場合の応急手当てができる。</p> <p>ア 鼻血 イ 目のちり ウ やけど エ 指の切りきず</p> <p>オ 立ちくらみ カ 腹痛</p>	-	(2) ア～オ	-	(2) ウ	
<p>12．動・植物による被害</p> <p>以下の生物による被害の予防と応急手当てを説明できる。</p> <p>(1)スズメバチ刺傷 (2)毒ヘビ咬傷 (3)イヌ咬傷</p> <p>(4)ムカデ咬傷 (5)ウルシ接触性皮膚炎</p>	-	(2) (3) (5)	-	-	
<p>13．搬送法</p> <p>傷病者を搬送する方法を一人法で3通り，二人法で2通り，三人法で1通りが実演できる。また，急造担架を作り，担架で運ぶ時の注意を説明し，その担架で実際に運ぶことができる。</p>	-		-		
<p>13．救急要請</p> <p>電話で救急車を要請する時の必要事項を説明し，通報を実演する。</p>					



(3) 県連盟，地区単位で設置される救護所の奉仕や隊活動，キャンプでの救護係を通算 5 日以上担当し，その報告書を提出する。

期間	日数	名称・場所	参加人数	応急手当の実践内容
年 月 日 ~ 年 月 日				
年 月 日 ~ 年 月 日				
年 月 日 ~ 年 月 日				
年 月 日 ~ 年 月 日				
年 月 日 ~ 年 月 日				

上記の通り担当したことを証明する 隊長サイン

上記 応急手当機会がなかった場合、

日常生活で遭遇した、傷病について、行った手当てなどの経過をまとめる

考查時 参考レポート

1 - ( 1 ) : ボーイスカウト救急法の意義を述べよ ( P2 ~ 5 )

3 - ( 3 ) : A E D が作動しない心臓の状態と、そのような状態の時には何をしなければいけないかを述べよ ( P41 )

4 : 以下の止血法を述べよ

(1) 直接圧迫止血法      (2) 止血帯止血法      ( P80 ~ 83 )

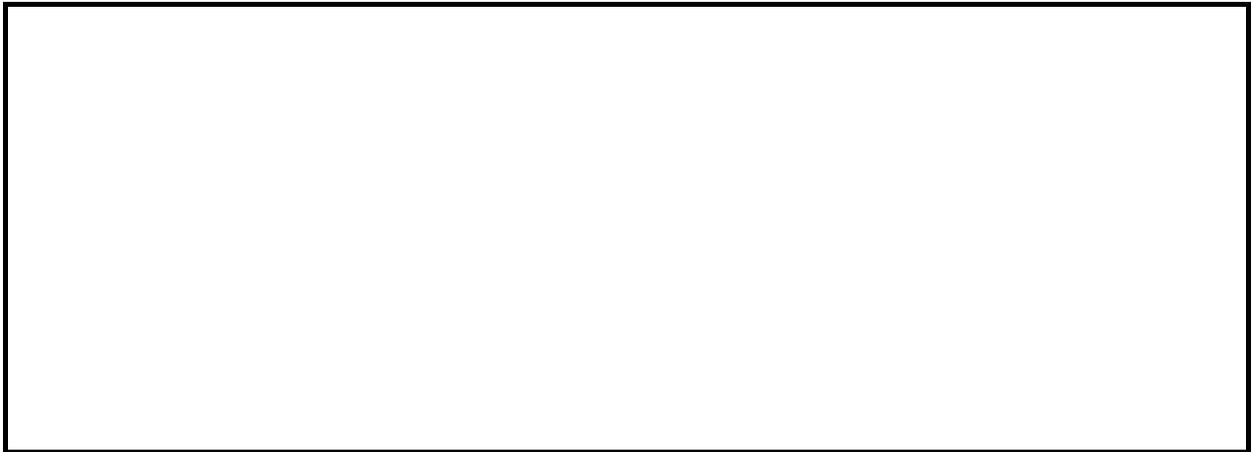
5 : ショック状態の徴候と、予防のための手当てを述べよ (P54)

A large empty rectangular box with a black border, intended for the student to write their answer to the question above.

6 : 食中毒について説明し、その予防と手当ての方法を述べよ ( P160 ~ P168 )



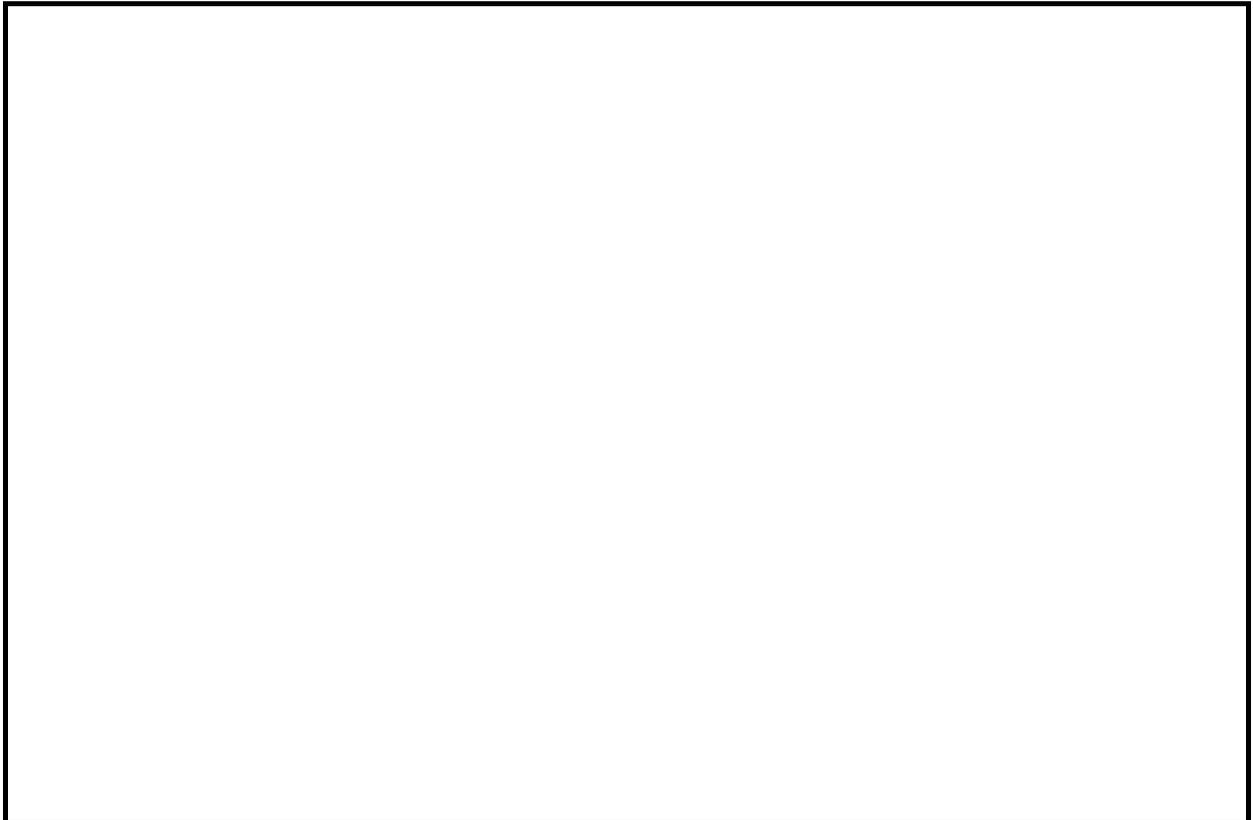
7 : 一酸化炭素中毒を説明し、その予防と回避する方法を述べよ。( P206 ~ 208 )



8 : 熱中症の種類とその予防、応急手当を説明し、実演せよ ( P58 ~ 66 )



9 : 頭部打撲時の症状と注意事項を述べよ。( P105 )



10 次の部位の骨折、捻挫、打撲に対し応急手当を行うこと（参考 P98～P104）

症状	ポイント	考査員実技 確認
(1) 鎖骨		
(2) 上腕		
(3) 前腕		
(4) 大腿骨		
(5) 下腿		
(6) 人指し指		
(7) 手首・足首の捻挫		
(8) 四肢の打撲		

11 (1): きずの種類と応急手当についての一般的注意事項を述べよ。(P86～96)

1 1 ( 1 ): きずの種類と応急手当に付き一般的注意事項を述べよ ( P86 ~ 89 )

--

1 1 ( 2 ): 日常遭遇しやすい次のような場合の応急手当を述べよ

症状	応急手当	参考
鼻血		( P109 )
目のちり		( P107 , 108 )
やけど		( P154 ~ 158 )
指の切りきず		( P93 )
立ちくらみ		( P202 ~ 203 )
腹痛		( P180 ~ 1 )

12 以下の生物による被害の予防と応急手当てを説明せよ

症状	予防と応急手当て	参考
スズメバチに刺された		( P143 ~ 146 )
毒ヘビに咬まれた		( P139 ~ 143 )
イヌに咬まれた		( P134 ~ 135 )
ムカデに咬まれた		( P147 )
ウルシにかぶられた		( P147, 148 )

13 (1) 傷病者を搬送する方法を一人法で3通り、二人法で2通り、三人法で1通り図示せよ (参考 P210~213)

搬送法	図
一人法	
2人法	
3人法	